彦根城博物館だより 121

2018.6.1

Hikone Castle Museum News

企画展

商家のうつわ
―湖東の商家伝来のやきもの―

6/15(金)～7/16(月・祝)

染付芙蓉手花卉に虫図中皿

個人蔵

内側の中央に大きな円窓を設け、その周囲に連ねた枠の中に模様を表わす「芙蓉手」という意匠の伊万里焼の皿。円窓の中央には花卉に虫の模様、縁には隠れ蓑などの宝尽文があしらわれています。22枚という大揃いで、滋賀県湖東地方の商家に伝来しました。

芙蓉手は、中国明代に盛行した表現形式で、日本でも、伊万里焼を中心に、さまざまなやきものに取り入れられました。本作は、整った器形とリズミカルさを感じさせる軽やかな筆致が魅力的な優品です。

展覧会情報

企画展
商家のうつわ
―湖東の商家伝来のやきもの―
6月15日▼▼7月16日

テーマ展
彦根城
―城の姿と城下町の暮らし―
7月20日▼▼8月21日

テーマ展
能面いろは
―井伊家伝来能面から―
8月24日▼▼9月17日

企画展
彦根製糸場
―近代化の先駆け―
9月21日▼▼10月23日

展示案内 6月～9月

常設展示 ”ほんもの“との出会い

―彦根藩井伊家伝来の大名道具を中心に八〇点あまりを展示―

企画展　展示室1

6/15（金）～7/16（月・祝）

商家のうつわ

―湖東の商家伝来のやきもの―

近江は、有力な商人を輩出した地域としてよく知られています。彦根藩の領内でも、城下や、近隣の街道沿いの町には有力な商家が軒を連ね、行商を中心とする全国規模の商いが行なわれてきました。これらの商家では、大勢の客をもてなすため、数十人前にも及ぶ大揃いの膳碗などの食器類が、必須の家財とされました。これらの器は、華やかな色や模様で彩られており、いかにも富商好みの趣があります。

本展では、湖東地域の商家に伝来したもてなしの器を紹介します。

錦手松竹に折鶴文重箱　個人蔵

◉ギャラリートーク◉

■日時　6月16日（土）11時～、14時～

■講師　奥田 晶子（当館学芸員）

テーマ展　展示室1

7/20（金）～8/21（火）

彦根城

―城の姿と城下町の暮らし―

彦根の象徴としてそびえる彦根城。井伊家が近江国（おうみのくに）に領地を得て彦根城の築城に着手した経緯をはじめ、城郭の特徴、城下町に生きた人びとの歴史について紹介します。

金亀山伝記

御城内御絵図

◉ギャラリートーク◉

■日時　7月21日（土）11時～、14時～

■講師　渡辺 恒一（当館学芸員）

テーマ展　展示室1

8/24（金）～9/17（月・祝）

能面いろは

―井伊家伝来能面から―

役柄や演出に応じた様々な種類がある能面。それらは大まかに尉（じょう）、鬼神（きじん）、霊（りょう）、男、女の五つに分けることができます。その表情も老若男女の違いに加え、柔和な笑みを浮かべるものから、怒りの相を表すもの、悲しみを表すもの、やつれきった相貌のものなど、じつに多種多様です。

本展では、能面の種類ごとの特徴や決まりごと、見分け方といった、能面を鑑賞する際のポイントを紹介します。この機会に、ぜひ能面に親しんでください。

能面　白色尉

◉ギャラリートーク◉

■日時　8月25日（土）11時～、14時～

■講師　茨木 恵美（当館学芸員）

＊関連講座を開催します。（4頁参照）

企画展　展示室1

9/21（金）～10/23（火）

彦根製糸場（ひこねせいしば）

―近代化の先駆（さきが）け―

明治十一年六月十六日、士族授産（しぞくじゅさん）と殖産興業（しょくさんこうぎょう）を目指して、近代的な器械製糸工場である彦根製糸場が開場しました。これは、当時の先進的な取り組みであり、同場は、近隣地域の近代化を牽引しました。初めは県営でしたが、後に井伊家に払い下げられました。

当館では、現在、井伊家伝来の近代文書の調査を実施していますが、その中に彦根製糸場関係の史料が数多く見つかっています。これを機会に、市内外の関係資料から、彦根製糸場の歴史を明らかにします。

彦根製糸場商標

◉ギャラリートーク◉

■日時　9月22日（土）11時～、14時～

■講師　早川 駿治（当館学芸員）

＊関連講演会を開催します。（4頁参照）

研究余録

金亀玉鶴

三公贈位奉告祭

大正六年（一九一七）十一月十七日、陸軍特別大演習の演習地となった滋賀県やその近隣の府県に関係する人びとに対して贈位が行われました。滋賀県では十一名に贈位されましたが、この中に彦根藩井伊家の初代直政、二代直孝、十一代直中の三名が含まれていました。

贈位とは生前の功績に対して没後に国から位階を贈ることです。明治以後の贈位は、主に国家に尽力して幕末・維新期に亡くなった勤王の志士に対して行われました。しかし後には民政や殖産興業、教育などに尽力した人物に対象が広げられ、時代も幕末・維新期に限定されなくなります。

大正六年の贈位で、従四位下であった井伊直政へは従三位（贈従三位）、正四位上であった直孝と直中へは従三位（贈従三位）の位がそれぞれ贈られています。三名とも民政が評価され、直中については「興学」も評価されています。

実はこのとき十三代直弼と十四代直憲についても贈位を滋賀県から申請していたのですが、認められませんでした。直憲についてはすでに正二位という位階であったため、追贈する必要がないとの判断だったようですが、直弼に関しては詮議もされず却下されています。今回滋賀県から提出された直弼の事蹟が従来の説と大きく異なっていて、死後六十年経過した今でも異論があるというのが、申請が却下された理由でした。直弼に関しては、その評価がまだまだ難しかったのです。

さて翌年四月十四日、彦根町では直政らの贈位を祝う「三公御贈位奉告祭」が開催されました。彦根城博物館にはこの経緯を記した史料が所蔵されています（「大正七年四月御帰郷ノ節日誌　附三公御贈位奉告祭概要」井伊家伝来古文書、写真）。この史料には、奉告祭の準備からその後始末にあたる期間であった三月二十八日から四月三十日までが日記形式で記されています。

これによれば、奉告祭の計画は旧彦根藩士を中心に進められ、当初は佐和山神社を祭場とする予定でした。しかし神社の境内が狭いという理由により、彦根城内の井伊家の旧御殿跡（現・彦根城博物館の場所）に変更されて行われました。当日は祭典のための施設が設けられ、贈位された三名の子孫で井伊家の当主である井伊直忠とその家族、旧家臣、滋賀県知事の代理や井伊家旧領の七郡長と町村長、町内の学校や病院・警察などの官公署長、会社長、新聞記者らが出席し、また一般の参拝者も受け入れて祭典が行われました。

また祭典終了後は楽々園の大広間に贈位された三名の刀や甲冑などを展示し、園遊会も催されています。

このように、旧藩士を中心とした動きからは、旧藩主を顕彰する意識や旧藩時代への憧憬をうかがうことができます。

（蔭山兼治）

大正七年四月御帰郷ノ節日誌
附三公御贈位奉告祭概要
（四月十四日の条）

能・狂言

◉水無月狂言の集い◉

■開催日時・場所
6月30日（土）18時開演（17時30分開場）
当館能舞台

■演目
大蔵流狂言　【解説】茂山　茂
「鎧」茂山七五三
「魚説経」茂山　千作
「文山立」茂山　茂

■チケット
全席指定
A席（正面席）3千5百円
B席（脇正面席）3千円
6月1日発売開始

◉第52回 彦根城能◉

■開催日時・場所
9月17日（月・祝）16時開演（15時30分開場）
当館能舞台

■演目
【お話】天野　文雄
観世流仕舞「船弁慶」上野　雄三
大蔵流狂言「栗焼」茂山七五三
観世流　能「景清」野村　四郎（人間国宝）

■チケット
全席指定
A席（正面席）5千5百円
B席（脇正面席）5千円
7月27日発売開始

＊開演時刻・演目・出演者等は、都合によりやむなく変更することがありますのでご了承ください。
＊チケットは当館受付およびお電話にてお求めいただけます。
（発売初日は、館内販売9時～、電話予約10時～）
＊未就学児はご入場いただけません。
＊前号において演目に誤字がありました。深くお詫び申し上げます。

スケジュール 6月～9月

6月

- 2土 教室 古文書のみかた②
- 16土 ギャラリートーク 商家のうつわ —湖東の商家伝来のやきもの—
- 23土 教室 古文書のみかた③
- 30土 能・狂言 水無月狂言の集い

テーマ展 華麗なる能の装い —女神と鬼神— ～6/12

企画展 商家のうつわ —湖東の商家伝来のやきもの— 6/15～7/16

常設展示 “ほんもの”との出会い

6/12-14 展示替により一部休室

7月

- 17火 休館
- 21土 ギャラリートーク 彦根城—城の姿と城下町の暮らし—
- 28土 教室 古文書のみかた④

テーマ展 彦根城 —城の姿と城下町の暮らし— 7/20～8/21

常設展示 “ほんもの”との出会い

7/18・19 展示替により一部休室

8月

- 18土 教室 古文書のみかた⑤
- 25土 ギャラリートーク 能面いろは—井伊家伝来能面から—

テーマ展 能面いろは —井伊家伝来能面から— 8/24～9/17

8/21-23 展示替により一部休室

9月

- 1土 教室 古文書のみかた⑥
- 8土 講座 「道具帳にみる江戸時代の井伊家所蔵の能面」
- 17月・祝 能・狂言 第52回彦根城能
- 18火 休館
- 22土 ギャラリートーク 彦根製糸場—近代化の先駆け—

企画展 彦根製糸場 —近代化の先駆け— 9/21～10/23

9/19・20 展示替により一部休室

＊「古文書のみかた」は事前申込制です。

催し

◉キッズサマースクール◉

8月に、狂言などの伝統文化に親しむ「キッズサマースクール」を開催します。この機会に、日本の伝統芸能に挑戦してみませんか？ご応募お待ちしています！

【内容】

狂言教室（小学5・6年生対象）

■日程

8月6日（月）、7日（火）、8日（水）、9日（木）の午後2時30分～4時30分、10日（金）の午後1時30分～4時30分（予定）

■講師

和泉流狂言師

小笠原 匡氏 ほか

■定員 12名（応募者多数の場合は抽選）

■傷害保険料 200円

■会場 当館（能舞台・講堂 他）

■対象

原則として彦根市・米原市・豊郷町・甲良町・多賀町・愛荘町に在学する小学5・6年生

■申込方法

各小学校に配布、もしくは当館ホームページに掲載する案内チラシの申込用紙に記入し、持参・郵送、またはホームページのいずれかの方法でお申し込み下さい。

■申込期間

6月15日（金）～7月13日（金）必着

◉講座・講演会◉

展覧会にあわせて、講座・講演会を開催します。担当学芸員が、展示の内容や関連するテーマについて、日頃の研究の成果を踏まえてより深く解説します。

■日時・内容・講師

①9月8日（土）午後1時30分～3時

テーマ展「能面いろは」関連講座

「道具帳にみる江戸時代の井伊家所蔵の能面」（茨木恵美）

②10月6日（土）午後1時30分～3時

企画展「彦根製糸場」関連講演会

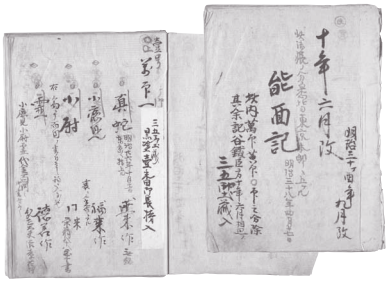
「彦根製糸場と井伊家近代文書」（早川駿治）

■会場 当館講堂

■定員 60名

■資料代 各100円

■申込 当日受付（先着順）



能面記

世界遺産 彦根城を世界遺産に
彦根城はユネスコの世界遺産暫定リストに登録されており、世界遺産をめざしています。

編集・発行
彦根城博物館
〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町１番１号
TEL 0749(22)6100 FAX 0749(22)6520
http://hikone-castle-museum.jp/

この印刷物は8000部作成し、印刷単価は約９円です。